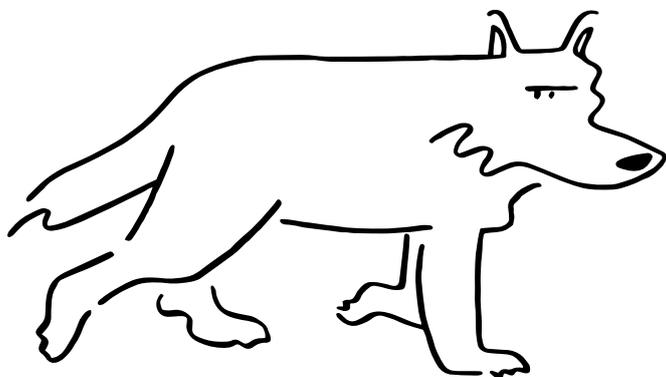


作・原曲／セルゲイ・プロコフィエフ
 構成・演出／西本勝毅
 美術デザイン／長場 雄
 美術製作／佐久間弥生
 音楽／松本雅隆・上野哲生
 演奏／ロバの音楽座

ピーターとおおかみ



2022年 9月 9日(金) 新座市民会館 ホール

〔1回目〕 10:30 開演 / 〔2回目〕 15:45 開演

※開場は各開演時間の30分前。
 ※1公演につき2作品を上演します。

全席指定 1,500円 (3歳以上均一・3歳未満膝上無料)

功にがまちにやてきた

原作／K・チュコフスキー(岩波書店刊)
 訳／内田莉沙子
 脚色／安尾芳明
 演出／栗原弘昌
 美術デザイン／宮本忠夫
 人形構造／斉藤英一
 音楽／宮崎尚志



新座市民会館

TEL 048-481-1111
<https://ticket.kxdf.co.jp/kpb-s/showList>

発売初日について 9:00～ インターネット・電話・窓口 ※初日の電話はお席はお選びいただけません。



発売日

6月18日(土)

チケットぴあ

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 【Pコード:513-080】

ローソンチケット

ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード:31867】

わにがまちにやってきた



「いろんなところにいるかも、わにさん」 演出／栗原弘昌

原作／K・チュコフスキー(岩波書店刊) 訳／内田莉莎子 脚色／安尾芳明
演出／栗原弘昌 美術デザイン／宮本忠夫 人形構造／斉藤英一
音楽／宮崎尚志 編曲／宮崎道

みんなのクラスに来るかも?わにさん。

お父さん、お母さんの会社にいるかも?わにさん。

日本の国に突然現れたりして!わにさん。

そうなんだ。“わにさん”がこのお芝居を観てくれる人それぞれに、いろんな見え方があったらいいなと思っています。そんな時、先入観で判断するのではなく、陰から物を言うのでもなく、正面で顔と顔を向き合わせて何かをしてみてください。お話をするのもいいでしょうし、時には一緒に遊んだり、又はある時は唄をうたったり踊ったりすることかもしれません。そこには何か生まれ何かが変わるはずですよ。

ある日、突然ワニが歌を歌いながら町に現れたから大騒ぎ! そのいでたちは洒落た服装に帽子をかぶり、葉巻をプカプカ。勇ましいワーニヤ坊やが立ち向かうと、ワニの言うことには・・・。



ピーターとおおかみ



作・原曲／セルゲイ・プロコフィエフ 構成・演出／西本勝毅
美術デザイン／長場 雄 美術製作／佐久間弥生
音楽／松本雅隆・上野哲生 演奏／ロバの音楽座

『ピーターとおおかみ』は、1936年、セルゲイ・プロコフィエフが子どものための交響的物語として作曲した作品です。クラシック音楽になじみのない子どもたちが気軽に体験して楽しめるように構成され、時代を越えて世界中で愛されて来ました。音に溢れる現代社会で素朴に口笛や鼻歌で自由に奏でられる旋律が、子どもたちの想像力をかきたててくれるでしょう。なにものにも束縛されずに、自由に動く人形たちが織りなす素朴でシンプルな世界をお楽しみ下さい。

おじいさんと深い森の中で暮らすピーターのまえに一匹の大きな灰色おおかみがあらわれ、ともだちのアヒルをペロリ。ピーターはおおかみをつかまえようとロープを手にも木に登り・・・

◆ 共通スタッフ 音響効果／吉川安志 照明／阿部千賀子 舞台監督／柴崎喜彦 制作／石田伸子 ◆ 出演者 滝本妃呂美・柴崎喜彦・前田佳奈英・佐藤翔太・勝二春陽 ◆



プーク人形劇場

人形劇団プークとは・・・

人形劇団プークは1929年に創立し、2019年に劇団創立90周年を迎えました。「こどもからおとなまで楽しめる人形劇を!」との思いで、活動を続けてきました。

1971年には全国の協力者の力をいただき、新宿に人形劇専門劇場『プーク人形劇場』が誕生しました。『プーク人形劇場』では、プークだけでなく、国内外の人形劇公演の他、ジャンルを超えたアーティストの交流の場にもなっています。ここを拠点に、全国での公演、時には海外でも公演をしています。

プークのテレビ部門『スタジオノーヴァ』では、『ざわざわ森のがんこちゃん』、『新・三銃士』やCMなどを手がけています。

会場／新座市民会館

〒352-0011
埼玉県新座市野火止1丁目1-2

TEL 048-481-1111

fax 048-481-1114

アクセス／新座・志木・朝霞台・東久留米・ひばりヶ丘の各駅よりバスで「新座市役所」下車。バス停から徒歩3分。

※新型コロナウイルス感染症の予防対策を行った上で開催いたします。

